

# 議会だより はこね



## 主な内容

- 12月定例会 審議結果等…………… P 2～3
- 一般質問…………… P 4～9
- 芦ノ湖水位に関する意見書提出…………… P 9
- 小学6年生議会傍聴…………… P 10
- 常任委員会報告…………… P 11
- 我が家の自慢等…………… P 12

令和元年12月3日  
女性会が議会を傍聴

## 専決処分

○専決処分の承認を求めることについて

1. 令和元年度箱根町一般会計補正予算（専決第1号）  
※台風19号による災害復旧や事務に対応するため、2億9,250万円を追加
2. 箱根湿生花園条例の制定  
※令和元年12月1日以降、町が直接管理する必要があることから、箱根町観光施設条例を廃止し、新たに箱根湿生花園条例を制定
3. 令和元年度箱根町一般会計補正予算（専決第2号）  
※湿生花園の指定管理者撤退による、12月以降4カ月分の町直営費用に3,245万円を追加

## 条例制定

1. 箱根町附属機関設置条例の制定について

## 条例改正

1. 箱根町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定  
※人事院勧告による職員の給与改定等を行うため
2. 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定  
※一般職の期末勤勉手当の支給割合が引き上げられたため、特別職にも同様の措置を行う
3. 箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する  
※特別職の期末手当の支給割合が引き上げられたため、議会議員にも同様の措置を行う
4. 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定
5. 箱根町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定
6. 箱根町放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
7. 箱根町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
8. 箱根町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定  
※令和元年10月1日施行の水道法の一部改正により、指定工事業者の指定について、5年間の更新制が導入された
9. 箱根町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定  
※環境センターに廃棄物を直接搬入した時、破砕機または切断機による処理が必要な廃棄物については、処理手数料を1キログラム当たり18円から23円に変更

## 条例廃止

1. 箱根町葬具使用条例を廃止する条例の制定  
※町が所有する葬具の老朽化が進み、葬儀に対する住民意識の変化に伴い稼働率も著しく低下していることから、貸し出しを終了し条例を廃止。

# 12月 定例会

## 会期

12月3日から  
13日まで

### 承認(3件)

### 専決処分 3件

### 可決(15件)

### 条例制定 1件

### 条例改正 9件

### 条例廃止 1件

### 補正予算 3件

### 議会議事案件 意見書の提出 1件

**補正予算**

**1. 令和元年度箱根町一般会計補正予算(第3号)**

補正額 8億5,120万円追加 ⇒ 補正後の総額 120億7,084万1,000円

**主な内容**

- ・箱根ファン創出事業 … 355万円
- ・箱根町中小企業等災害復旧支援事業 … 4億6,200万円

**2. 令和元年度箱根町介護保険特別会計補正予算(第2号)**

補正額 230万円追加 ⇒ 補正後の総額 14億4,254万4,000円

**3. 令和元年度箱根町水道事業会計補正予算(第1号)**

補正額 270万円追加

**意見書**

※P9に提出した意見書等を掲載。

1. 芦ノ湖の水位の適切な管理による町民の安全確保を求める意見書の提出

台風19号の襲来により、芦ノ湖湖畔や、早川沿いの建物等において甚大な被害を受けたため、町民の安全確保の観点から、芦ノ湖の水位の適切な管理について、十分配慮してもらえるように要望するため、議会提案により、意見書を提出することに決定しました。

提出先＝神奈川県知事

**箱根町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正で行われた質疑の一部**

Q：値上げの根拠は？

A：破砕機または切断機の処理については、業務委託作業員1人分の経費500万円を粗大ごみ見込み量900tで割返すと、1kgあたりの経費が約5円であることから。

Q：値上げの時期を延期出来ないのか？

A：平成30年度の粗大ごみの搬入量は、約1,100tで、手数料見直し前(平成28年度：924t)と比較すると約20%増加し、環境センターでの処理の円滑化に支障が生じている。手数料改定により、粗大ごみの搬入量減量に向け早急に対応していきたい。



**議員別議案賛否一覧** (賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	勝俣公好	勝俣泰彦	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	村野由紀子	川端祥介	山田成宣	稲葉親太郎	遠藤秀則	沖津弘幸	折橋尚道	石川栄
72	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	箱根町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	箱根町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
81	令和元年度箱根町一般会計補正予算(第3号)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	専決処分の承認を求めることについて ※湿生花園条例	承認	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成 ×：反対 -：議長は採決に参加しません。



質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。

なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
遠藤 秀則	・防災について	4
勝俣 公好	・台風19号における湖尻水門の放流について ・仙石原強羅停車場線（県道733号線）の道路の拡張について	5
折橋 尚道	・令和元年度の財政見通しと災害に関する支出 ・オリンピック・パラリンピックを前にした観光振興対策	6
山田 成宣	・芦ノ湖の治水対策について	
小川 鶴雄	・湯本地区公共施設の利活用について	7
稲葉親太郎	・台風19号の観光への影響について ・大涌谷園地の状況について	
村野由紀子	・有害鳥獣対策について ・「気候非常事態宣言」について	8
川端 祥介	・令和元年台風19号に関する本町の被災状況、町の対応、豪雨被害、今後の対策について	
山田 和江	・台風19号を教訓とした災害対策について ・地球温暖化対策 町の取り組みについて	9
沖津 弘幸	・仙石原地域のまちづくりについて	

※ **Q**は議員の質問、**A**は町側の回答です。



## 町の防災対策は

町 — 防災対策を推進。町と地域が連携、災害に強いまちづくりを進める

- Q** 今回の台風における早期対応策は。
- A** 町長 常に関係機関に努め、気象庁の予報で災害対策連絡会議を開催。身の安全確保。早期の行動を呼びかけ、人的被害ゼロとした。
- Q** 避難所の当初開設数は適正か。
- A** 町長 各地域一か所であるが宮城野地域は公民館、やまなみ荘、温泉地域は公民館と大平大集会所、社会教育センター、その後、宮城野さくら館を増設対応、今後防災士をはじめ自主防災組織連携との強化、開設増も考える。
- Q** 避難困難者に対し自助・共助を機能させるための公助の役割は。
- A** 町長 養成している防災士と自主防災組織の連携、各自治会に合ったやり方を作り上げる必要があると考える。避難所の職員配置と人数は適正か。
- Q** 避難所に食料等持参の周知策は。
- A** 町長 防災無線で避難の際各自で持参をと放送。今回は316名の避難で、アルファ米等375食、ビスケット240食を提供。
- Q** 今回の教訓と今後の対策は。
- A** 総務防災課長 放送が雨の音にかき消されてしまっている、今後個別受信機の購入など、常日頃から災害対策の大切さ、準備を万全に防災対策の推進、災害に強いまちづくりを進める。
- Q** さくら館では停電となり水も使えなかった。避難施設での非常用電源は。
- A** 総務防災課長 避難所施設の一部を除いて設置されていない。本年度より順次新規購入、計画を進める。

遠藤 秀則 議員



# 台風19号における湖尻水門の事前放流をもっと早くできなかったか

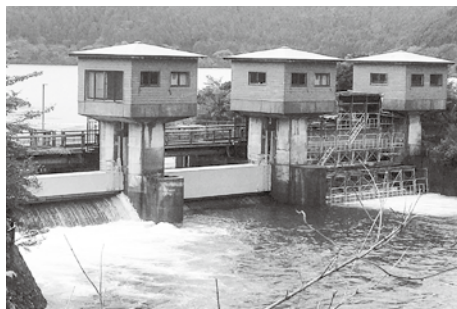
## 町 — 芦ノ湖水門操作規則に基づいて行われた



勝俣 公好 議員

**Q** 10月12日に台風19号が襲来し、総雨量1000mmを超える記録的な大雨となり、早川は各地区で氾濫危険水位に達するまでになった。また、場所によっては床上浸水が発生し、遊覧船が数日間運休するなどの被害をもたらした。テレビ等の報道によると、台風19号が大型であり、関東地方に上陸の恐れがあるとの情報から、事前放流をもっと早くできなかったか。

**A** 町長 芦ノ湖の常時満水位は湖尻水門の観測点ではその水位が守られるように放流が行われている。芦ノ湖は防災面から見れば、大雨を飲み込むダムであり、平素から水位は低い方が良く、観光面から見ればある程度水を湛えた雄大さが望まれ、生活面から見れば発電や水田用水のため、防災面とは逆に十分な水を蓄えた水がめとしての機能が求められる。



湖尻水門

今回の台風による被害は、事前放流をしたにもかかわらず、気象庁の降雨予報をはるかに上回る降雨量であったため、事前放流だけでは対応が難しいと思われる。

**Q** 芦ノ湖の水門、常時水位を2.30mから2.10mに変更するなどして、人命の安全を守ってほしい。

**A** 副町長 静岡県側、芦ノ湖で観光業を営む事業者、町でそれぞれの立場を理解しあつて、最適な解決策を見つける。

# 町財政見通しと災害支出・オリパラ前の観光振興対策

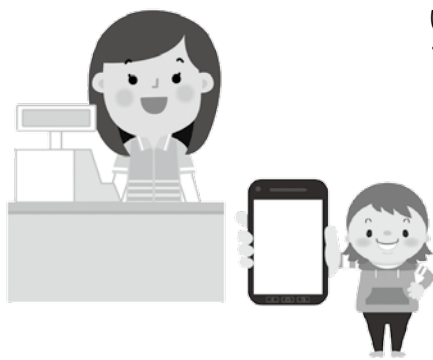
## 町 — 緊急支出は専決処分に対応し、観光促進は進めている



折橋 尚道 議員

**Q** 噴火警戒レベル引き上げ規制と台風災害により甚大な経済損失を被っている。こうした状況下では、個人・事業者の収入減はもとより、災害被災者の不測の出費が生じている。これは同時に町の財政状況にも影響すると危惧するが、税収状況並びに災害支援の緊急支出をどのようにしたか。

**A** 町長 全体予算額に対し8,700万円ほど減収となる見込みで、主な要因は入湯税約7,500万円減、法人町民税約3,100万円減、増収が固定資産税は2,800万円増の見込みである。台風19号の被災対応の災害救助や応急災害復旧の経費として2億9,200万円を補正予算として緊急支出し、ふるさと納税も約1か月間で550件、1千100万円を超える寄付をいただき罹災者への見舞金や、中小企業者へ



の災害復旧支援の財源として活用した。

**Q** オリன்பック・パラリンピックを前にした観光対策とカード・スマホ決済、高速通信5G対応を含めた観光インフラの整備は。

**A** 町長 首都圏中心にPR活動実施とインバウンドへ準備をする。WiFiの整備は一段落した。今後5Gに対応した機器購入など時代に即した技術を利用して行く。キャッシュレスについてはクレジットカード決済の導入促進を図り、旅行者の満足度向上と観光消費額向上を図っていく。

# 芦ノ湖の治水対策強化を！！

町 — 県に対し、要望書にて対策強化をしっかりと求める



山田 成宣 議員

**Q** 台風19号による記録的大雨の影響で、氾濫した芦ノ湖の治水対策をめぐり、神奈川県議会決算特別委員会の場で県は原因や対策について検証する方針を明らかにした。町として特に芦ノ湖の事前放流など、治水対策をどのように考えているのか。

**A** 町長 湖尻水門の開閉に必要に応じ静岡県とも協議するなど、最善を尽くすとのことであり、今後とも神奈川県との検討の動向に注視していく。

**Q** 議会としても神奈川県知事に対して、芦ノ湖の治水対策・平常時の水位の見直しについて、対策強化を求める意見書を提出する。

については、箱根町としても、議会に歩調を合わせて神奈川県知事に対して要望書の提出を求めるが、今後の方針について考えを伺う。

**A** 副町長 今日まで毎年、神奈川県土木センターに



芦ノ湖遊覧船乗り場も浸水した

対し、芦ノ湖の水位見直しについて、□頭にて要望してきたが、静岡県との協議が必要ないのが現状である。ただし、今回の台風19号による被害が発生したことにより、静岡との協議を躊躇する段階ではなくなったので、形に残る要望書として正式に神奈川県に提出していく。

# 湯本地区公共施設（箱根観光物産館）の利活用は

町 — 「国際観光地箱根」の玄関口にふさわしい建物を検討していく



小川 鶴雄 議員

**Q** 令和2年から約2年間、さがみ信用金庫に箱根観光物産館（築67年、老朽化している建物）を仮店舗として貸すこととなった理由について伺う。

**A** 町長 町では消防湯本分署の移転が決定した段階で、箱根観光物産館を含めて廃止、解体する方向で活用策を検討してきたが、跡地の活用策の決定までに時間を要することや、令和2年秋の消防湯本分署移転後の財産の扱い、さらに地域の金融機関への協力の必要性などを総合的に勘案した結果、さがみ信用金庫の申し出に協力していく方針を決定し、令和2年度の貸付に向けて具体的な協議を進めていく。

**Q** 箱根観光物産館跡地の活用策の検討と今後の方向性について伺う。

**A** 町長 サウンディング調査を行った結果、民間活力による事業実施は十分可能

であるとの確認を受けたので、官民連携での事業化を進めていく。手続きに相当の時間や専門的な知見も必要となるため、さがみ信用金庫に2年間程度貸付を行っている間に十分検討し、手続きを進めていきたい。そのためには様々な方の意見を聴取し、国内外から訪れる多くの観光客に優しく、人々が安心して集うことができる「国際観光地箱根」の玄関口にふさわしい活用策について十分検討していく。



箱根観光物産館



# 台風19号が産業である観光に与えた影響額は

町 — 具体的な金額には換算しえないが、相当額の影響があった



稲葉親太郎 議員

**Q** 台風19号の被害により、箱根全体の被害総額は、観光課長 今回の災害は、かつて経験したことの無い規模の災害で、完全な復旧にはまだまだ時間を要するのと、また、※しっかい悉皆調査をしているわけではないので、簡単に申し上げることができないことを踏まえたうえで回答する。

**A** 激甚災害に認定されたことから、国・県あげて様々な支援策を用意しているが、その前段として、被災直後から経済産業省関東経済産業局や県から中小企業の被災額を求められている。正確な被災額がわからない状況にあるが、過去の被災例やサンプルとなる個別被災額をもとに、全体を示せるように一定の数値を乗じて総額を推計すれば良い話で、小田原箱根商工会議所箱根支部や箱根温泉旅館ホテル協同組合などの協力を得て各



強羅駅のイルミネーション

団体傘下の会員等への聴取を行い、その結果をもとに町全体として約52億円という数字を算出して県に報告した。また、観光動向を見ると、箱根温泉旅館ホテル協同組合からは、10月における宿泊実績の状況が、前年同月比で地域によって異なるが、7割から8割程度との話を聞いている。具体的な金額には換算しえないが、相当額の影響があったと考えられる。

# イノシシの捕獲強化を!

町 — 青い色の検証・迅速な対応・鳥獣被害防止柵等の周知



村野由紀子 議員

**Q** 町民の方々がスズランテープの青色を使って、工夫しながら自宅の侵入防止対策を行っている。新たな被害防止対策を住民に提案出来ないか。

**A** 環境課長 イノシシの視力は0.1程度で、色の区別が青色しか認識できないといわれている。青い色のものを障害物として認識するため、警戒心の高いイノシシは近づかなくなる効果が考えられる。専門家の意見も踏まえ検証する。

**Q** 10月の台風上陸以降イノシシの出没が多く、わながすべて稼働しているため順番を待っている状況。わなの増設等による捕獲の強化についての考えは。

**A** 環境課長 わな監視装置を導入し、くくりわなも活用して設置数は増やしている。できる限り迅速に対応する。



捕獲されたイノシシ

**Q** 住宅が密集しているなど、わなの設置に適していないところは、鳥獣被害防止柵が大変有効であると思う。鳥獣被害防止柵購入費補助金制度(上限2万円の中で町民は、交付対象費用の2分の1、事業者は3分の1を補助)の周知がもっと必要ではないか。

**A** 環境課長 今後は有害鳥獣を誘引しないための行動と併せて周知に努める。

※ 悉皆調査とは、データを余すことなく全て調べること。



# 台風19号の教訓、将来の対策

## 町 — ハザードマップを充実していく。早めの避難を呼びかけていく

**Q** 台風19号における消防の対応について、住民に対しては避難勧告や避難指示などにより、避難所へ避難させるなどの役割については大事なことであり、住民が避難をためらうことにより、被害を

**A** 町長 ハザードマップを現在の2種類から、さまざまな情報が1つの地図上でも確認できる、見やすくわかり易い、ハザードマップを作成するよう検討していく、また早めの避難をするため、周辺の状況に応じた適切な避難行動をとるための最適なコンテンツとすべく、ハザードマップの作成に努めるとともに、その活用方法や普及についても進めていく。

**Q** 今回の台風19号は、過去に経験しなかった豪雨災害となった。住民や観光客には、これから将来に備え確実な避難を確保するため、最新のハザードマップに更新する必要があるのである。

**A** 町長 ハザードマップを現在の2種類から、さまざまな情報が1つの地図上でも確認できる、見やすくわかり易い、ハザードマップを作成するよう検討していく、また早めの避難をするため、周辺の状況に応じた適切な避難行動をとるための最適なコンテンツとすべく、ハザードマップの作成に努めるとともに、その活用方法や普及についても進めていく。



川端 祥介 議員



はこね防災マップ

**A** 消防長 消防として、今後においても人命救助を第一に考え、緊急時の避難誘導を最優先に実施するとともに、今までと同様、車両からの広報のみならず、直接お宅を訪問するなど、避難の伝達・誘導などにより安全確保に努めていく。

**A** 消防長 消防として、今後においても人命救助を第一に考え、緊急時の避難誘導を最優先に実施するとともに、今までと同様、車両からの広報のみならず、直接お宅を訪問するなど、避難の伝達・誘導などにより安全確保に努めていく。

# 災害が人口減少にならないよう町独自の支援を

## 町 — 国や町の制度に該当しない方には見舞金を出している

**Q** 町民の支援については、災害救助法で被害が10%の軽微なものも対象となったが、当町では事例がなかった。あるお宅では給湯器がダメになり、壁もはがれてしまった。

**A** 町長 先の各新聞の社説でも、日本の避難所は世界最悪だと報じられている。来年度予算で避難所の環境改善について検討を指示している。

**Q** 横になっても起き上がれない高齢者等のためにダンボールベッドを備える必要がある。

**A** 町長 先の各新聞の社説でも、日本の避難所は世界最悪だと報じられている。来年度予算で避難所の環境改善について検討を指示している。



山田 和江 議員

**Q** 町民の支援については、災害救助法で被害が10%の軽微なものも対象となったが、当町では事例がなかった。あるお宅では給湯器がダメになり、壁もはがれてしまった。

**A** 町長 先の各新聞の社説でも、日本の避難所は世界最悪だと報じられている。来年度予算で避難所の環境改善について検討を指示している。

**Q** 横になっても起き上がれない高齢者等のためにダンボールベッドを備える必要がある。

**A** 町長 先の各新聞の社説でも、日本の避難所は世界最悪だと報じられている。来年度予算で避難所の環境改善について検討を指示している。



災害用組立て段ボールベッド

# 仙石原地域のまちづくり

## 町 — 関係機関と積極的に協力していく



沖津 弘幸 議員

**A** 町長 事業はマルシェ開催、空店舗利用、仙石原公園利活用、地域魅力向上、バスターミナル計画、交差点改良計画で、その結果を基に効果の検証を行っている。

**Q** まちづくりプラットフォームの進捗状況は。

かねてから課題となってる仙石原地域のまちづくり計画のテーマは「箱根の西の玄関口 旅と生活のハブ拠点」を挙げており、仙石原交差点周辺においてまちづくりを推進することで、箱根町の新たな魅力を創出・発信することにより、地域経済の活性化に確実に結びつけることが必要と考える。

仙石原地域のまちづくりにおいては、バスターミナル計画、交差点改良計画、地域魅力向上に力を注ぎ、整備しながら新しい息吹も取り入れ、地域の活性化に一丸となることが急務。



仙石原交差点付近

**A** 町長 長年の懸案と認識しており、より良い形で実現するよう、小田原土木セクターとともに図っていきたいと考えている。

**Q** 仙石原交差点及び付近の歩道は。

計画の実現に向けて積極的に協力していく方針。

**Q** 小田急バスターミナル提案は。

**A** 町長 自動車のターミナル法の規定により、専用バスターミナルは一般乗り合い旅客自動車運送事業者が設置となっており、町としては、計画の実現に向けて積極的に協力していく方針。

### 令和元年12月13日 本会議にて議決 (全会一致)

10月12日台風19号の甚大な被害を受けた箱根町、早川河川水量調整の重要性がより鮮明になりました。そこで議会としても今後、芦ノ湖水位調整・事前放流などの重要性についての意見書を、神奈川県に提出しました。



意見書は石川議長から直接、黒岩知事に手渡されました

## 芦ノ湖水位に関する意見書提出

(令和元年12月19日 知事に提出)

「芦ノ湖の水位の適切な管理による町民の安全確保」を求める意見書

芦ノ湖は古来より多くの旅人を魅了し続けてきた明鏡であり、町民が愛着と誇りを感じている箱根町のシンボルである。この芦ノ湖が先日の台風19号襲来により夕方から溢れ出し、その水は湖畔や早川沿いの建物に流れ込んで次々に浸水被害を与えた。停電で真っ暗な2階に避難して一夜を明かした方も多く、どんなに心細かったことかと胸が詰まる思いである。今回は予想降水量を上回る雨量だったことが氾濫に結びついていたと聞いているが、今後、町民が安心して暮らしていくためには想定外で済ますことは到底できない。芦ノ湖は平素から水力発電や観光・漁業などで利用されており十分な水を貯えておく必要があることは承知しているが、今後再び予想を上回る雨が降ることも考えられることから、芦ノ湖の水位を適切に管理して町民の安全確保に十分配慮していただくよう、次の事項について要望する。

- 1 平素の湖水利用と大雨などの緊急事態への対応の両者に配慮した平素の水位管理  
湖水の利用者と町民の両者にとって許容できる水量を定め、芦ノ湖を現在より低い水位で管理していただきたい。そのため平素から少量の水を湖尻水門から放流しておくことも有効ではないかと考える。
- 2 予想降水量を上回ることを念頭に置いた事前の水位低下  
予想降水量に応じた事前放流では今回のような事態に対応できないため、降雨に伴って湖尻水門を全閉した後に予想降水量を上回る降雨となっても芦ノ湖が氾濫しないよう、事前に十分に水位を下げていただきたい。芦ノ湖は降雨後に地下水によって周囲の山から供給されるため、結果的に予想を上回る降雨とならなくても水位は回復してくるものと考えている。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月19日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

神奈川県足柄下郡箱根町議会議長 石川 栄



# 小学校6年生・地方自治学習



5年目となる町内小学校6年生の「地方自治学習・議会見学」が、12月議会開催中の11日に実施されました。真剣な様子で議会傍聴に臨んでいました。



議会傍聴に向けた事前学習の様子



● 役場に到着 玄関前でご挨拶 ●



● 食堂で見学前のオリエンテーション ●



● 議員控室でひとやすみ ●

## 傍聴に来てくれた6年生の感想

### 湯本小学校.....

☆小学校でやる会議よりも人数が多く、しかも質問席があり、初めて見たので、本格的だなと思った。小学校でやるよりも、とてもスムーズに話し合いが進められていてすごいなと思った。

### 仙石原小学校.....

☆芦ノ湖の放流のことや道路のことなどについて、自分たちの生活に関係のあることなので、議会の人々がしんちょうに話し合いをしているのだと思いました。

### 恵明学園.....

☆今回、見学をして、ふだん議員の方々が何をやられているのかがわかりました。また、議員の方々は、たくさん仕事をしていて町のためにたくさん話合っていてすごいなと思いました。

### 箱根の森小学校.....

☆箱根に住む人たちの願いをもとにして、箱根に住む人が安全にそして幸せに暮らせるように沢山の方々と話し合っていて決めることがわかりました。沢山のことをしているということがわかりました。



● 本議会傍聴 一般質問の真っ最中 ●



● ぼくらは議場で勉強中 ●



## 総務企画観光常任委員会 報告

当委員会は10月8日及び12月5日に会議を開き、今後の調査研究事項について協議を行いました。その結果、防災対策、定住化対策、観光施策等について進めていくこととなりました。2年間かけて優先順位等を決めながら効率よく望んでいきたいと思ひます。

また12月23日には、12月定例会において指定管理者の取り消しを議決した箱根湿生花園の現地視察を行いました。町直営となりましたが、3月の開園に向け職員も鋭意取り組んでいることから、議会としても引き続き注視していききたいと思ひます。

今後は、当町にも甚大な被害をもたらした台風19号襲来時の対応等について検証を行うとともに、今回の教訓を今後の防災面に反映できるよう、積極的に調査研究を進めていきます。

委員長 稲葉 親太郎



## 教育福祉環境常任委員会 報告

昨年10月21日、教育福祉環境常任委員会の閉会中に実施する調査研究について協議しました。

- 廃棄物処理の適正化及び環境センターのあり方について
- 環境問題（プラごみゼロ宣言）について
- 小学校等の適正配置について
- 私学通学者補助について
- さくら館の活用等について
- イノシシ駆除等について
- 災害対応について（・通学路の安全確保・バス路線の運行・国道138号線の復旧状況・避難所の安全対策等）

また、12月議会で上げられました、補正予算における災害予算の現地確認及び調査についても行って参ります。

1月24日、環境センターを視察し、直接搬入される廃棄物のうち、破碎機または切断機による処理が必要な廃棄物が1kg23円に4月から改められるため、今後の対応等について伺いました。

委員長 村野 由紀子



## 行財政改革調査特別委員会・議会改革等推進特別委員会 正副委員長決定

### 行財政改革調査特別委員会 (14名)



委員長  
山田 成宣



副委員長  
勝俣 剛一

### 議会改革等推進特別委員会 (7名)



委員長  
折橋 尚道



副委員長  
川口 延明

委員 勝俣泰彦、小川鶴雄、山田成宣  
稲葉親太郎、沖津弘幸

# 熱海・箱根・湯河原広域行政推進協議会

12月20日 J R 品川駅びゅうプラザ前にて、熱海・箱根・湯河原広域行政推進協議会の誘客、観光キャンペーンを開催しました。

ポスター掲示やパンフレットの配布、ペア宿泊券が当たる抽選会もあり、多くの方が参加され大きな成果がありました。



箱根のペア宿泊補助券が  
あたった方と



左：ももちゃん  
右：ごまくん

## 我が家の自慢

ごまは保護されて家に来て3年目、  
推定8歳、1日中寝ています。  
ももは1歳、食いしん坊でさみしが  
りや…  
2人は、とっても仲良し！

仙石原地区 村野さん

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっている動物の名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送またはEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載) [web\\_gikai@town.hakone.kanagawa.jp](mailto:web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp)  
なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

広報広聴委員会

委員長 川口 延明  
副委員長 勝俣 泰彦  
委員 勝俣 剛一  
委員 村野 由紀子  
委員 稲葉 親太郎  
委員 折橋 尚道

## 3月定例会の日程(予定)

2月21日(金)、3月3日(火)、5日(木)、  
9日(月)、12日(金)、17日(火)、18日(水)



※ 2月14日(金)開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。詳しくは、議会事務局 (☎85-9570) までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

～ 皆さまの傍聴をお待ちしています ～